

生物多様性の保全に向けた 愛知の取組について

愛知県 環境部 自然環境課

愛知目標（愛知ターゲット）

2010年愛知・名古屋で開催されたCOP10において採択
「人と自然が共生する社会」の実現に向けて、
2020年までに達成すべき世界共通の具体的な行動目標

戦略目標A：生物多様性の主流化

戦略目標B：直接要因への対処と持続可能な利用

戦略目標C：生物多様性の状況の改善

戦略目標D：生物多様性・生態系サービスの恩恵の強化

戦略目標E：実施の強化

さらに細分化され20項目からなる

愛知の取組

「愛知目標」における
本県の主要戦略

生物多様性の主流化

生物多様性の損失の抑止

環境保全と開発の調和

「生態系ネットワーク」と「代償ミティゲーション」の
組み合わせによる新しい試み

「あいち方式」

「あいち方式」

生態系ネットワーク

+

ミティゲーション

ポテンシャルマップ
(生息適地図)

【ネットワーク形成の目標】

生き物(ネットワーク形成の指標種)が実際に生息しているエリアのみならず、生息の潜在的な可能性があるエリアを示す地図

(愛知県が独自に作成)

生態系ネットワークの形成



ポテンシャルマップで目標の共有

指標種の例



ツキノガメ



オオカ



オオムラサキ



止水性トホ類